

# 江戸の絵皿と絵手本を照合して解いた 日本初の絵解き謎解き本

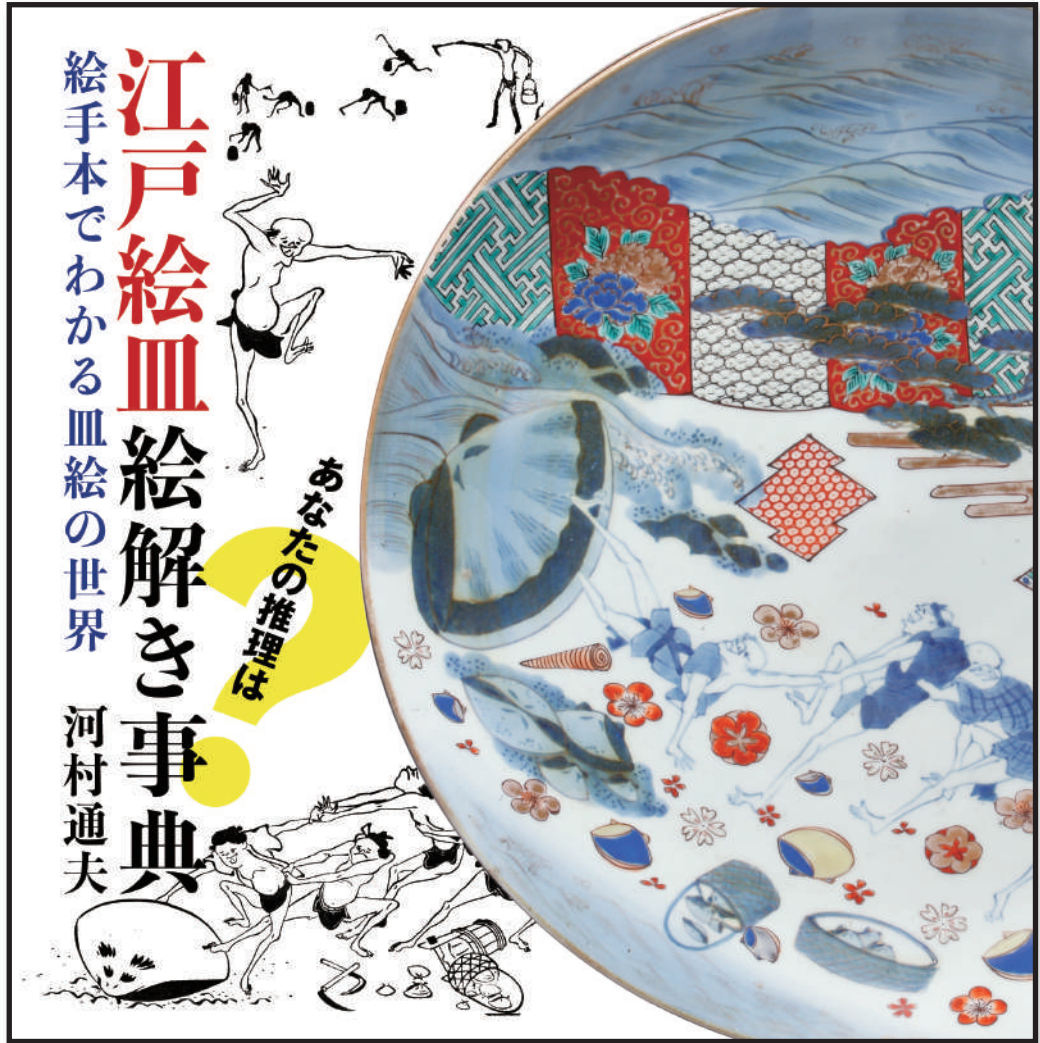


2020年11月18日発売

定価 ¥1,800 (税別)

あなたも推理にチャレンジ!

狩野派の絵師等が描いた、古伊万里の一尺(直径約30センチ)程の絵皿。その絵には、物事の謂れ、故事来歴、そして江戸の心が秘められていた。膨大なコレクションの絵皿と絵手本から見えて来た、日本初など解き本。



講談社

あなたの推理は?  
推理をしてから次ページへ

伊万里 志田焼 江戸後期



河村通夫

お子さんと  
絵皿の謎解きを!

河村通夫の/  
**桃栗サンデー**

北海道 STVラジオ「河村通夫の桃栗サンデー」発!!  
毎週日曜 午前10時~11時  
全国どこでもラジオアプリ「radiko」でお楽しみ頂けます。



# 司馬温公の瓶割り

この絵は、司馬温公の瓶割りの図です。温公は、本名を司馬光と申され、中国北宋時代の政治家で、「資治通鑑」を編纂された学者でもありました。丁度、この頃の日本は、清少納言や紫式部がおられた、平安時代中期でございます。

当時、大きな水瓶は、大そう高価な貴重品でありました。その水瓶の中に、友の童が誤って落ち、溺れそうになったのを、司馬光は、とっさに側にあった石で瓶を打ち割り、助けられたのです。

いくら高価な物であっても、人の命に勝るものはない。その教えとして、古来画図に描かれて参りました。また、日光東照宮の陽明門勾欄など、各地で彫りものとして残されております。

さて、江戸時代の貞享五年（一六八八年）に出版された「絵本宝鑑」には、このような絵と故事が書かれておりました。

## 撃甕図

水甕の邊に佞群で遊びしに、いかがしたりけん  
一人の佞 甕の中に陥けり  
皆 幼なき者なれば、いかがせんと周章す。  
一人は、親の方へ、告にはしる。  
中に賢き児ありて、側なる石を  
抱あげて、甕をうちわり  
水を出ししかば、すなはち佞も出て  
死をたすかりけり。  
此 賢き児は、司馬温公の稚き時なり。

以下の12枚は出版社のご好意で  
（「司馬温公の瓶割り」を含む）  
立ち読みができますのでお楽しみ下さい

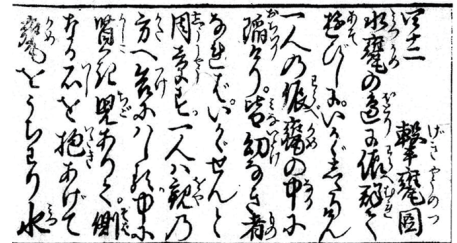
江戸絵皿絵解き事典 立ち読み で 検索

<https://etoki.kawamuraichio.com>

@michio\_kawamura michio\_kawamura\_



絵本宝鑑（貞享5年・1688年）



絵本写宝袋（享保5年・1720年）



伊万里 志田焼 江戸後期



鳥羽絵 欠び留（享保5年・1720年）



伊万里焼 江戸後期

汐干

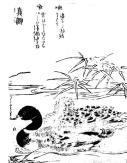


歳時故実（延享2年・1745年）



伊万里 志田焼 江戸後期

龍門



絵本通宝志（享保14年・1729年）



伊万里 志田焼 江戸後期

真鴨



絵本写宝袋（享保5年・1720年）



伊万里焼 江戸後期

獅子の子落し



金玉画府（明和8年・1771年）



伊万里 志田焼 江戸後期

関帝

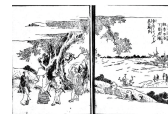


ふくき雛形集（江戸後期）



伊万里焼 江戸後期

近江八景



日用心法鈔（文政10年・1827年）



伊万里 志田焼 江戸後期

桃李不言下自成蹊



絵本通宝志（享保14年・1729年）



伊万里 志田焼 江戸後期

応龍（鷹龍）



写生獸図画（享保4年・1719年）



伊万里焼 江戸後期

麒麟



絵本写宝袋（享保5年・1720年）



伊万里 志田焼 江戸後期

漁夫の利





操百人一首華文庫(安政2年・1855年) 伊万里 志田焼 江戸後期



塩屋

絵本通宝志(享保14年・1729年)  
絵本写宝袋(享保5年・1720年)  
頭書増補訓蒙図彙(寛政元年・1789年)



蝦蟇仙人に陳楠

# 以下のお皿の謎解きは本にてお楽しみください。



名家人物画譜(江戸後期)



伊万里 志田焼 江戸後期

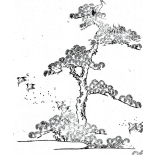
李白観瀑



名数画譜(文化7年・1810年)



一路功名



主従心得草(天保14年・1843年)



鶴の巢籠り



写真学筆(文化12年・1815年)



伊万里 志田焼 江戸後期

大原女



書名不明(江戸前期)



牡丹二十日草



新家模様集(明治34年・1901年)



菊水伝説・流れ菊



頭書増補訓蒙図彙(寛政元年・1789年) 伊万里焼 江戸中期～後期



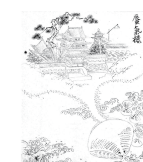
苦瓜(ゴーヤ)



絵本和比事(享保20年・1735年)



座敷に庭



ふくさ雛形集(江戸後期)



蜃気楼



日本山海名産国会(寛政11年・1799年) 伊万里 志田焼 江戸後期



大華國



五常弁(寛政6年・1794年)



二見の浦・夫婦岩



文晁画譜(文久2年・1862年)



麻姑



画筌(享保6年・1721年)



伊万里焼 江戸後期

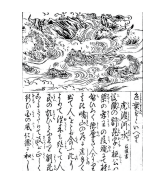
蛭雪の功



絵本通宝志(享保14年・1729年)



練鵲・橘守国派



絵本故事談(正徳4年・1714年)



虎の子渡し



絵本故事談(正徳4年・1714年)



伊万里 志田焼 江戸後期

兎走二波上



随一大雑書古今大成(天保9年・1838年)



二十四節氣



御伽草子・二十四孝(江戸中期)



孟宗「哭竹生笋」



吉祥图案解題(昭和15年・1940年)



伊万里焼 江戸中期

壽字文



画図拾遺(享保5年・1720年)



恵比寿



画図拾遺(享保5年・1720年)



大黒天

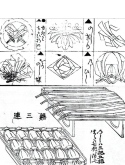


名家人物画譜(江戸後期)



伊万里焼 江戸後期

大津絵



紋帳早見大成(安政3年・1856年)  
婚礼罌粟袋(寛延3年・1750年)



熨斗



溪斎浮世画譜(天保年間・1830~44年) 伊万里 志田焼 江戸後期



宝船(変遷)



# はじめに・・・江戸絵皿の絵解き

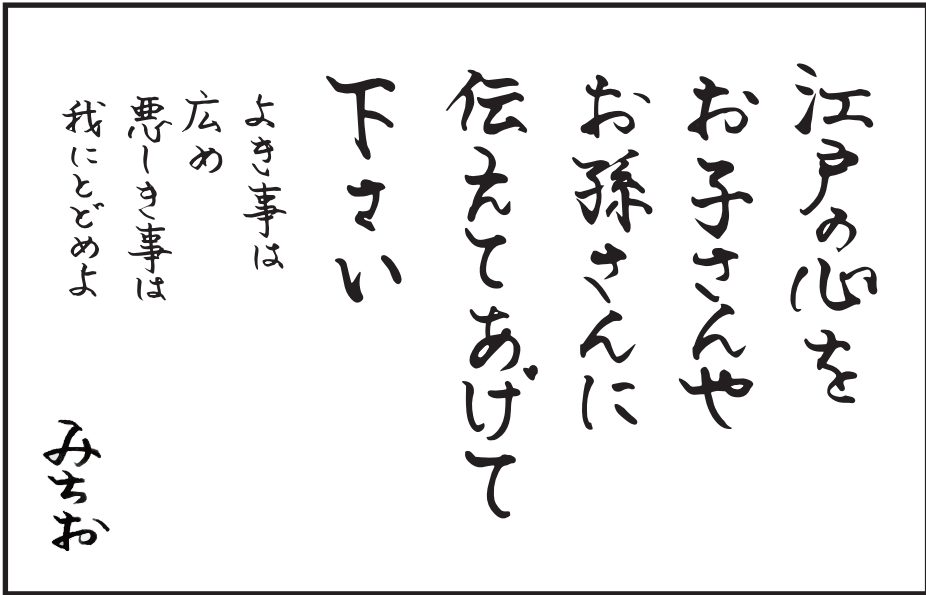
「絵解き」とは、「絵の意味を説明する事」や、また「その人の事」とされています。その絵解きは、仏画等をはじめとして、平安時代より昭和の半ばまで、人の心の学びや楽しみみとして、暮らしの中に生きておりました。

特に江戸時代からは、掛軸や絵皿が人々に好まれ、大人同士や子供達にむけての絵解きが、営みの中に心の学びとして育まれてゆきました。天明三年（一七八三年）に出版された「授業編」の中にも、「子供は必ず絵解きをせがむ」とあり、そのきらきらとした子供の様子が目に浮かんで参ります。いつの世も、ものに描かれた絵は、子供をはじめ人々の心を惹きつけ、その絵解きは、主に人から人へと口伝えて伝わって来ました。

まだ和風の暮しだった昭和四十年頃までは、お寿司屋の板前さんの後ろの壁には、江戸絵皿が所狭しと飾られ、その絵解きの語りがまだ聞かれました。料理人にとって絵皿の絵解きは、教養であり、粋なお客にとっても、故事来歴や教訓の学びの一つでありました。

ところが洋風化した昨今は、骨董店の方々でさえ、絵解きを語る人は少なくなり、その上、絵皿の意味を説明した図鑑や解説書等を探しても、今迄出版されておらず、数百年以上続いて来た絵解き文化は、今や消えようとしています。そして、東洋画と西洋画の違いは、西洋画が美の観賞を優先するのに対して、東洋画は、絵の中に含み隠されている意味を、味わう事にあります。

この、二十数年間に骨董市等で集めた江戸絵皿と、古書店等から手に入れた、江戸時代の本の絵を基に、およそ五百篇程の絵皿原稿が、ようやく出来上りました。この度、それらの中から、一冊目として四十篇ほどを選び、日本で初めての絵皿の絵解き本を、出版させて頂く事になりました。この先も、五百篇全篇を、順次または全集として、出版できればと考えております。是非お子様達に、人間的な教養の一つとして、口伝えて絵解きをして頂き、未来の子孫へ繋がればと願っております。



河村通夫  
Michio Kwamura

1948年、京都市生れ。自然流生活研究家、江戸絵皿絵解き研究家。1969年、札幌にてフォークの店「パフ」を設立。25才の時、札幌STVラジオで番組を担当する。その後、72才の現在まで47年間継続し、現在の番組名は「桃栗サンデー」。

又、全国ネット番組の「大自然まるかじりライフ」も、35年間の長寿番組である。32才で岩見沢近郊の山を自らの手で開墾し、畑や庭を作り、本格的に衣食住の研究生活に入る。この間に江戸絵皿千枚、江戸絵手本等500冊ほどを収集し、照合研究をする。また京都西陣の町家を、娘婿と共に鉋を手に15年かけ修復し、重要景観建造物に指定される。

主な著書にベストセラーの「米ぬか健康法」（小学館）、「自然塩健康法」（小学館）。LPレコードに「雪割の下」（東芝EMI）、「十勝野」（CBSソニー）。研究開発商品の、米ぬか食品「ぬか玄」、「草取り知らずの敷きつめ堆肥」などは、全国的にロングセラーとして、信頼を得ている。

## 著者紹介

## ラジオ 河村通夫の 大自然まるかじりライフ

RAB青森放送	月~金 11:25 ~ 11:35
ABS秋田放送	月~金 12:00 ~ 12:10
IBC岩手放送	月~金 16:40 ~ 16:50
YBC山形放送	月~金 12:30 ~ 12:40
RFCラジオ福島	月~金 9:30 ~ 9:40
BSN新潟放送	月~金 12:14 ~ 12:24
SBC信越放送(長野県)	月~金 13:45 ~ 13:55
YBS山梨放送	月~金 6:30 ~ 6:40
東海ラジオ(愛知県)	月~金 6:30 ~ 6:40
KNB北日本放送(富山県)	月~金 12:20 ~ 12:30
MRO北陸放送(石川県)	月~金 6:35 ~ 6:45
FBC福井放送	月~金 6:30 ~ 6:40
KBS京都	月~金 6:05 ~ 6:15
RSK山陽放送(岡山県)	月~金 10:15 ~ 10:25
KRY山口放送	月~金 11:25 ~ 11:35
RKB毎日放送(福岡県)	月~金 15:10 ~ 15:20
MRT宮崎放送	月~金 6:40 ~ 6:50
RKK熊本放送	月~金 6:30 ~ 6:40

## 江戸絵皿 絵解き事典 絵手本でわかる皿絵の世界

著者	河村通夫
発行者	渡瀬昌彦
発行者	株式会社 講談社 〒112-8001 東京都文京区音羽2丁目12-21 (販売) 03-5395-3606 (業務) 03-5395-3615
編集	編集 株式会社 講談社エディトリアル
代表	代表 堺公江 〒112-0013 東京都文京区音羽1丁目17-18 護国寺SIAビル (編集部) 03-5319-2171
装丁	Certo Tokyo
写真調整	泉谷和宏
資料修正	若杉佳子
印刷所	豊国印刷株式会社
製本所	株式会社宝社